

市民の手による、市民と地域のための大学

宇治市民大学

会場 宇治市生涯学習センター



令和七年度後期「歴史コース」

テーマ「古代、国家の形成②」

◆受講料

各講座一回 七百元

五枚綴りチケット 二千八百円

《歴史コース》と《宇治学コース》

で使えます

九月～十一月の講座日に販売

◆定員 先着 200名

◆申込み 講座日、会場で受付

◆致します 事前申込み不要

◆問合せ

TEL 090-8988-4383

宇治市民大学事務局 丸山

◆注意

生涯学習センター専用の駐車場は

ありません

第1講 9月27日(土) 午前10時～11時半
仏教伝来と欽明天皇・用明天皇・推古天皇
～国家は仏教をどのように受容したのか～
立命館大学文学部日本史研究学域教授
本郷 真紹さん

第2講 10月18日(土) 午前10時～11時半
山背国の開発と渡来人
～秦河勝の活躍～
京都産業大学名誉教授
井上 満郎さん

第3講 11月8日(土) 午前10時～11時半
難波宮から探る大化改新
大阪大学大学院文学研究科・文学部教授
市 大樹さん

第4講 12月13日(土) 午前10時～11時半
女たちの壬申の乱
堺女子短期大学副学長
水谷 千秋さん

第5講 1月31日(土) 午前10時～11時半
古代布の世界
奈良大学文学部教授
小林 青樹さん

継体以降の天皇の系譜と代表的な宮処

* 楠葉宮・
★ 継体 ↓ 27 安閑 ↓ 28 宣化 ↓ 29 欽明 ↓ 30 敏達 ↓
★ 聖徳太子
31 用明 ↓ 32 崇峻 ↓ 33 推古 ↓ 34 舒明 ↓ 35 皇極 ↓
皇極・重祚 * 大津宮 * 飛鳥板蓋宮 ↓ 難波宮
36 孝徳 ↓ 37 (斉明) ↓ 38 天智 ↓ 39 弘文 ↓ 41 天武
* 藤原京 * 平城京 * 飛鳥浄御原宮
42 持統 ↓ 42 文武 ↓ 43 元明 ↓ 44 元正 ↓ 45 聖武

宇治市民大学 令和7年度後期講座

講師からのひとこと

9/27 仏教伝来と欽明天皇・用明天皇・推古天皇

～国家は仏教をどのように受容したのか～

本郷 真紹さん

朝鮮半島の百済から5世紀に伝来した仏教、約半世紀の受容と排斥をめぐる葛藤の時期を経て、推古朝に厩戸皇子(聖徳太子)や蘇我馬子はその興隆を図ります。既に在来の天神地祇に対する信仰があり、大王(のちの天皇)がその祭祀を務めとしたにもかかわらず、なぜこのような判断を下したのでしょうか。仏教が有した在来の信仰にない特性に注目し、古代王権と朝廷が、それぞれの立場で仏教の利用を図ろうとした意義を考えます。

10/18 やましろの山背国の開発と渡来人～秦河勝の活躍～

井上 満郎さん

京都の開発の開始時期は特定できません。旧石器とよぶ石器が発見されていて、人間の居住が数万年前までさかのぼることは確かですが、いくつかの画期を経て現在に至りました。そして古代における最大の画期が渡来人による地域開発なのですが、5世紀ころのことです。ここでは京都に焦点を合わせて、その具体的なすがたをたどっていきたく思います。

11/8 難波宮から探る大化改新

市 大樹さん

日本古代史上の最大の政治改革といっても過言ではない大化改新。しかし、戦後歴史学では『日本書紀』の批判的検討が進み、大化改新の評価は著しく下がってしまいました。しかし、近年になって新たな木簡の出土や難波宮の発掘調査の進展によって、大化改新を再評価する機運が高まっています。今回の講座では、難波宮に焦点をあて、発掘調査の成果と『日本書紀』の再読解を通じて、大化改新の実像に迫ってみたいと思います。

12/13 女たちの壬申の乱

水谷 千秋さん

古代最大の内乱といわれる壬申の乱。近江大津宮で天智天皇が崩御したのち、次の天皇の座をめぐるその長男の大友皇子と弟の大海人皇子が戦いました。この戦いの背後には、のちの持統天皇や額田王、天智天皇の皇后だった倭姫皇后など、宮廷女性たちも深く関わっていました。今回は、『日本書紀』や『万葉集』などから、壬申の乱にこれらの女性たちが果たした役割とその謎について考えてみたいと思います。

1/31 古代布の世界

小林 青樹さん

今回、本講座では縄文時代から古代にかけての布について製作法や使用法について概観し、布から当時の社会について考えます。縄文時代にはアンギンと呼ばれる編み物があり、弥生時代以降に織物が日本列島に出現しました。布は衣服など生活に用いられるほかに、特に土器や瓦などの製作に用いられ、大陸から焼き物が伝わる度に焼き物専用の布も渡来しました。こうした布の分析から、布がどこから渡来したのかなどをみていきます。